

第2回運営委員会

日時：平成23年4月9日13:00

場所：新大阪丸ビル401号室

出席者：片岡、伊藤、由良、相沢、今田、大沼、上久保、須藤、高田、寺嶋、野地、原田、光岡、村上、山下、柳澤、神山、皿井、小倉、島田、本間、木寺、石渡、永山、垣内

【報告事項】

1. 平成23年度年会準備状況（小倉・島田：報1）

予算案および今後の収入確保見込み、年会実行委員の役割分担、シンポジウム企画およびシンポジウム講演者・オーガナイザーの男女比、会場見取り図と教室割り振りの詳細、懇親会、受付体制、アクセスや宿泊状況などについて報告があった。

2. 平成24年度年会準備状況（本間：報2）

年会実行委員会案、会場案、日程概要案が報告された。

3. 確定申告について（片岡：報3）

平成22年の確定申告が報告された。

4. 出版委員会報告（伊藤：報4）

分野別専門委員規定について、委員選出に関する文面変更の提案があり、承認された。生物物理の投稿規定について、引用文献のフォーマット明示について提案があり、承認された。300号記念号編集体制の提案、「生物物理」の冊子体出版を見直す議論に着手する提案があり、承認された。BIOPHYSICSについて、投稿数増の報告およびExperimental protocols, Hypothesis, Data base and computer programs の3つのカテゴリーを増やす提案がされた。若手奨励賞の応募条件として、将来的にBIOPHYSICSでの論文発表経験を加えることが提案され、それに向けての準備計画が提案された。BIOPHYSICS論文賞を設けることが提案され、選考委員会などの体制について検討を始めることとなった。J-STAGE3への移行が6月にはじまり、来年度4月より完全移行することが報告された。新HP案および企業広告掲載様式案が提案され、承認された。

5. 男女共同参画・若手問題検討委員会報告（由良）

年会シンポジウムの計画が報告された。若手奨励賞審査員について第1次審査、第2次審査の審査員案について提案があり、承認された。

6. WEB会員管理システム導入の進捗状況（相沢・須藤：報7）

WEB会員管理システムおよび年会受付システム導入の進捗状況について報告があり、WEB会員管理システムについては4/15（金）にID、パスワード、案内メール、操作ガイドが送付される予定であることが報告された。

8. 生科連報告（片岡）

生物科学学会連合のパンフレットができたことが報告された

9. IUPAB・ABA関連事項（永山：報8）

17th IUPAB/IPCの開催要綱が紹介された。若手会員の参加旅費の支援として、1名あたり5万円の支援を10件行うことについて提案があり、承認された。

10. 物理チャレンジ関連報告（光岡：報9）

物理チャレンジについて紹介があり、今年度の開催要綱が紹介された。

11. 賞・助成金推薦委員会報告（伊藤：報10）

山田科学振興財団に本学会から3名を候補者として推薦したことが報告された。東レ科学技術研究助成について、本学会からの推薦者が受賞したことが報告された

12. 支部報告（支部長：報11）

九州支部の2010年度の会計報告がされた。中部支部から講演会および総会開催の報告があった。

【議題】

1. 平成24年度予算（案）（高田：議1）

平成24年度の予算案が報告された。特別会計から一般会計の赤字補填に使用できる枠組をつくる必要性が提案され、今後法人化の問題も含めて専門家も入れた検討を開始することが提案された。支出減への対策について意見交換がされた。

2. 平成24・25年度委員候補者推薦結果について（上久保：議2）

選挙結果の報告があった。96名の候補者が提案され、承認された。

3. 平成24・25年度委員選挙要項（上久保：議3）

選挙公告案が示され、投票用紙としてマークシート方式を用いること、これに伴う公告の文面変更が提案され、承認された。締め切り期日を7月7日とすることが提案され、承認された。地域の偏りをなくすため、各支部の支部長は支部から3名の会員を推薦し候補者とすることが提案され、来年度に検討されることとなった。

4. 法人化について（片岡：議4）

法人化WGが作成したレポートが示され、日本生物物理学会は法人化すべきであるとの基本的考えが提案された。各運営委員で法人化レポートの内容を検討し、5月末までに電子メール会議にて賛否を審議した上で、会員に諮ることとなった。

【連絡事項】

次の運営委員会

7月16日（土曜） 新大阪丸ビル